

# 全国数学教育学会

## 第48回研究発表会 特別企画

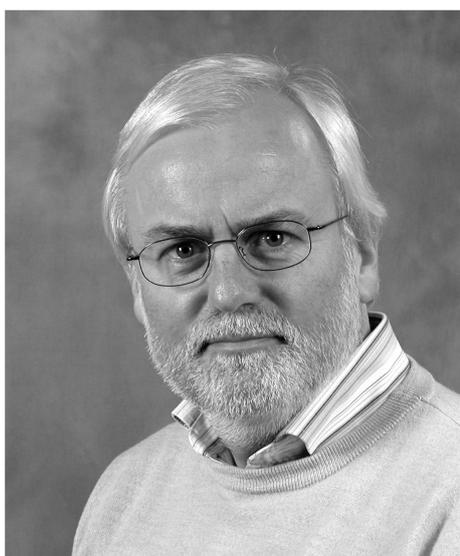
2018年6月24日(日) 10:30~12:00 於 広島大学

### ハインツ・シュタインブリング先生講演会

## 数学教師教育の本質的問題

教授-学習過程でのコミュニケーションについての意識と  
数学的知識の認識論的制約に気づくこと

Essential issues of mathematics teacher education  
Awareness of communication in teaching-learning processes and  
consciousness about epistemological constraints of mathematical knowledge



**Prof. Dr. Heinz Steinbring**

**University of Duisburg-Essen**

(ジュイスブルク・エッセン大学)

【講演趣旨】全国に教職大学院が設立され、大学院レベルの数学教師教育に「学校実習」が本格的に導入されようとしている日本の現状に鑑み、数学教育学研究を基盤とした、数学教師教育の在り方を一緒に考える機会にしたいと思います。(研究部)

2018年6月25日(月) 10:00~12:00 (於 広島大学教育学研究科 第3・4会議室)

### 『シュタインブリング先生と語る会』

講演の中で提示された重要なアイデアについて、具体的な事例(特にドイツの数学教師教育の実際等)を通じた先生との直接の議論の場を設けたいと思います。

お問合せ: 岩崎 浩 (上越教育大学) [iwasaki@juen.ac.jp](mailto:iwasaki@juen.ac.jp)

## Prof. Dr. (i.R.) Heinz Steinbring, Universität Duisburg-Essen

ハインツ・シュタインブリング博士（ドイツ ジュイスブルク・エッセン  
大学名誉教授）の紹介

Steinbring博士（Prof. Dr. (i.R.) Heinz Steinbring, Universität Duisburg-Essen）は、ヨーロッパを中心として世界の数学教育学の理論研究を牽引してこられた、ドイツの数学教育学研究の第一人者であり、日本でも認識論的三角形(Epistemological Triangle)の提唱者としてよく知られています。博士は、数学認識論に対する造詣が深く、一方で、認識論的視座から数学という教科の本質を踏まえた数学教授学の基礎的研究をされながら、他方で、数学の授業におけるコミュニケーション（相互作用）という数学教育実践の最前線で起こっている現象を解釈・分析し、そのメカニズムを解明する研究もされています。また、数学教師教育の研究の第一人者でもあり、古くて新しい『理論—実践問題』を議論する中で、Shulmanの提唱するいわゆるPCKの限界を指摘されています。

今回のご講演では、「数学教師教育にとって本質的なものは何か」についてお話し頂く予定です。全国に教職大学院が設立され、大学院レベルの数学教師教育に「学校実習」が本格的に導入されようとしている日本の現状に鑑み、数学教育学研究を基盤とした、特に大学院レベルの数学教師教育の在り方を一緒に考える機会にしたいと思っております。

博士の主要な業績には以下のようなものがあります：

- ▶ Steinbring, H. (2015). Mathematical interaction shaped by communication, epistemological constraints and enactivism. *ZDM The International Journal on Mathematics Education*, 47(2), 281-293.
- ▶ Steinbring, H. (2011). Changed Views on Mathematical Knowledge in the Course of Didactical Theory Development: Independent Corpus of Scientific Knowledge or Result of Social Constructions. In T. Rowland, K. Ruthven (Eds.): *Mathematical Knowledge in Teaching*, Series: Mathematics Education Library, Vol. 50, chap.4, Berlin, New York: Springer, 43-64.
- ▶ Steinbring, H. (2005). *The Construction of New Mathematical Knowledge in Classroom Interaction: An Epistemological Perspective*, Mathematics Education Library, Vol. 38, Berlin, New York: Springer.
- ▶ Steinbring, H. (1998). Elements of Epistemological Knowledge for Mathematics Teachers. *Journal of Mathematics Teacher Education*, 1(2), 157-189.
- ▶ H. Steinbring (1997), Epistemological investigation of classroom interaction in elementary mathematics teaching. *Educational Studies in Mathematics*, 32(1), 49-92.

6月25日の午前10時～12時、『シュタインブリング先生と語る会』を広島大学教育学研究科第3・4会議室にて開催し、講演の中で提示された重要なアイデアについて、具体的な事例（特にドイツの数学教師教育の実際等）を通してより深く理解したり、講演の中で提出された質問やさらなる質問を基に、特に大学院レベルの数学教師教育の在り方について議論する場を設けたいと思っております。2時間という限られた時間ではありますが、リラックスした雰囲気の中、気軽に意見交換ができればと思っております。ふるってご参加下さいませよう、皆様のご参加をお待ちしております。